

安全・適正就業委員会だより

■ 当センターにおける事故発生状況（平成25年6月1日～平成25年8月31日）

安全・適正就業委員会として、事故減少の取り組みとして安全・適正就業パトロール及び安全講習会等を通じ、就業時及び就業途上での事故防止の取組を行っておりますが、残念ながらこの期間内に6件の事故が起きました。

万一事故に遭ったときは、すぐにセンター事務局に連絡をしてその指示に従って対処して下さい。また事故後速やかに、センターにある「事故連絡票」に記入して事故の報告を行ってください。なお所定用紙はホームページからも入手できます。

- 検針作業： 水道メーター検針時、気分が悪くなり、自分で救急車を要請し、入院した。(傷害事故)
- 除草作業： 庭の草引き時、蜂の巣が無いこと、飛んでないことを確認して作業していたが、1匹のみ飛んできて刺された。(傷害事故)
- 剪定作業： 門柱の金具(国旗立て)で頭部の打撲により出血。(傷害事故)
- 除草作業： 機械刈り除草作業時、配管の表面を回転刃で切った。(物損事故)
- 除草作業： 作業中に蜂に刺された。(傷害事故)
- 除草作業： 機械刈り除草作業時、養生シートを張って作業を行っていたが、養生シートの上から横から石が飛んで、走行中の車に当たり助手席窓ガラスを破損した。(物損事故)

■ 安全パトロール巡回のようす



剪定
(一般家庭)



除草
(一般家庭)



送迎
(相楽福祉会)



堆肥化
(堆肥場)

■ 平成25年度安全・適正就業に関する標語

今年5月に募集しました平成25年度安全・適正就業に関する標語は、8人の会員が応募下さいました。それらを安全・適正就業委員会担当理事及び委員で選考しました結果、下記の2首が選出され、京都府シルバー人材センター連合会に推薦しました。連合会の審査で入選すると、全国での審査に進出できるところでしたが、惜しくも入選とはなりませんでした。応募下さいました会員の皆さん、力作をありがとうございました。

連合会に推薦した標語

- 「甘く見る 馴れと油断が 事故まねく 」 吉川 徹 会員 作
 「さあ仕事 始める前に まずミイティング」 山口 芳明 会員 作